

「炎症性腸疾患、自己免疫・自己炎症性疾患と診断され 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ」

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者様の試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 自己免疫・自己炎症性疾患における疾患横断的免疫エンドタイプ分類と治療反応予測に関する観察研究

研究の目的

自己免疫疾患及び自己炎症性疾患は、免疫系の異常によって慢性的な炎症や臓器障害を引き起こす疾患群であり、全身性エリテマトーデス（SLE）、混合性結合組織病（MCTD）、関節リウマチ（RA）、皮膚筋炎、成人スティル病（AOSD）、血管炎症候群、Behçet 病、VEXAS 症候群、炎症性腸疾患（IBD）などが含まれます。これらの疾患では同じ診断名であっても病態や治療反応性に大きな個人差が存在することが知られています。しかしながら、どの患者さんにどの治療が有効であるかを正確に予測する方法は十分に確立されていません。

近年、遺伝子解析技術の発展により、患者さんごとの免疫細胞の特徴を詳細に評価できるようになりました。本研究では、末梢血単核球（PBMC）、血清、血漿、病理組織及び診療情報を用いて統合的免疫解析を行い、免疫疾患の特徴を明らかにするとともに、治療反応性や臨床経過との関連を解析することを目的としています。

本研究により、自己免疫・自己炎症性疾患の病態解明、新規バイオマーカーの開発及び個別化医療の実現につながることを期待されます。

研究実施期間： 実施許可日 ～2030 年 3 月 31 日

対象となる方： 弘前大学医学部附属病院において、2014 年 4 月 1 日～実施許可日までの間で、潰瘍性大腸炎、クローン病、SLE、MCTD、RA、AOSD、皮膚筋炎、ANCA 関連血管炎、巨細胞性動脈炎、高安動脈炎、Behçet 病、VEXAS 症候群、その他の自己免疫・自己炎症性疾患と診断され、通常診療の過程で血液検体、病理組織又は診療情報が取得されている患者さんを対象とします。

利用させていただきたい試料・情報等について

研究の方法について

調査内容は、日常診療範囲内で確認する患者背景、合併疾患、臨床診断、症状、臨床検査データ、治療法などの医学的情報を診療記録から用います。加えて、診断・治療評価のために施行した既存の生検組織、内視鏡的診断・治療の既存の切除標本、外科治療に至った手術標本、炎症性発癌による大腸癌の外科手術標本を用いて、細胞死や炎症に関与する分子を免疫組織学的手法で解析します。

当院に保管されている記録並びに既存の病理標本から調べますので、患者様に調査のために新たにお問い合わせをしたり、本研究に参加することによって患者様に新たな費用負担が生じることはありません。また、本研究に参加することによって謝礼をお支払いすることはありません。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを仮名化といいます）、行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者様／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合、当該患者様の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

担当者：弘前大学大学院医学研究科 地域医療学講座

【責任者】 職名：助教 氏名：太田 真二

【研究分担者】

消化器血液免疫内科学講座 職名：助教 氏名：前田 高人

消化器血液免疫内科学講座 職名：助教 氏名：村井 康久

連絡先：〔TEL〕 0172-39-5053

〔FAX〕 0172-37-5946